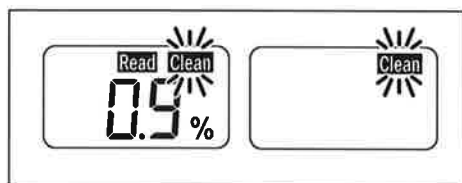


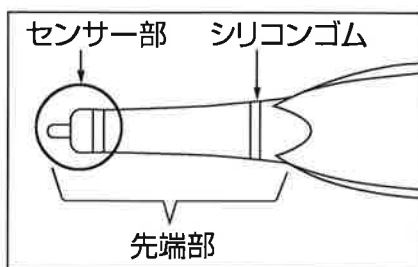
塩分濃度を測定する

お願い

- 味噌汁などをお椀に入れて測る場合は、次の点にご注意ください。
 - ▶測定温度は5℃～90℃です。(スープなどの測定物の温度)
- 使用後はセンサー部が汚れているため、中性洗剤を含ませた柔らかい布などで拭き、水でよく流し、柔らかい布などで水気を拭き取り保管してください。
- 測定後、センサー部にスープなどの測定物が付着すると、「Clean」が点滅表示します。センサー部が汚れているサインです。柔らかい布などで付着物を拭き取ってください。付着物を拭き取ってから、再測定してください。
 - ▶付着物があると電源が入らず、測定できません。電源が入っても測定できないことがあります。



測定準備

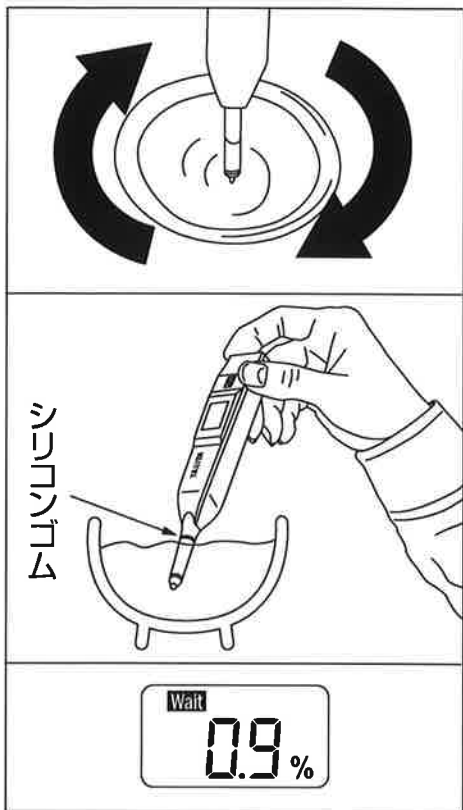


塩分濃度測定をする前に、センサー部が汚れていないか確認してください。汚れている場合は、正確な測定ができませんのでセンサー部をよく水洗いしてください。

⚠ 注意

- センサー部には直接手で触れないでください。
 - ▶故障の原因になります。

1.測定する。

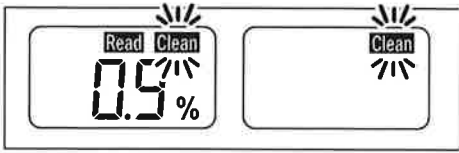


- ①センサー部を水洗いした場合は、柔らかい布で拭いてください。
- ②スープなどの測定物にセンサー部を入れながらかきまぜてください。電源が振動とともに入り測定を始めます。
(先端部にあるシリコンゴムの下までを目安にしてください)

2.表示を確認する。

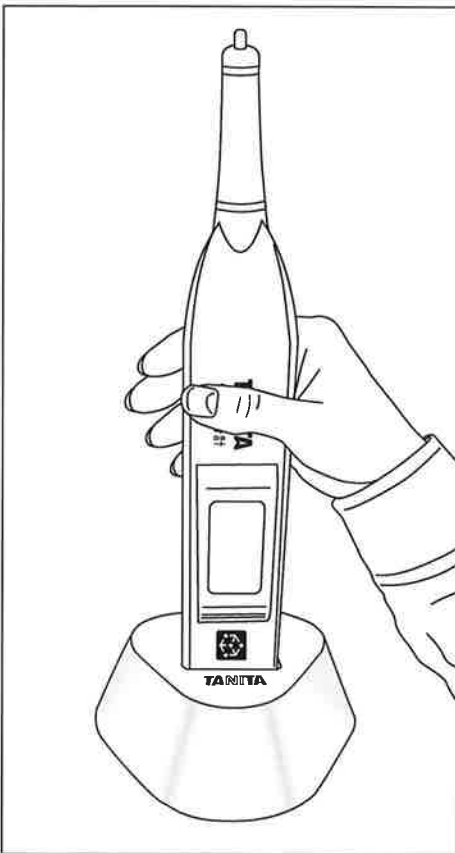


- ③測定が完了すると振動とともに左図のような塩分濃度が表示されます。
- ④本器を測定物から取りだし表示をみてください。



- ⑤測定後、センサー部にスープなどの測定物が付着すると「Clean」が点滅表示します。センサー部が汚れているサインです。柔らかい布などで付着物を拭き取ってください。付着物を拭き取ってから、再測定してください。

3.使用後の保管



使用後はセンサー部が汚れているため、中性洗剤を含ませた柔らかい布などで拭き、水でよく流し、柔らかい布などで水気を拭き取り保管してください。

保管は左図のように付属のスタンドに立て掛け、食器棚などに収納してください。